



幸田の大舞を春の空を舞う、新した。大空を舞い、事に見末に、見苦しさを春の空を舞う、幸田の大舞です。

今月の表紙は1月11日のこうした風揚げまつりで、坂崎区が揚げる予定の大風です。この日は大会に向けて、試し揚げて行っていました。風が弱く苦勞した末に見事な大空を舞い、新した。大空を舞い、事に見末に、見苦しさを春の空を舞う、幸田の大舞です。

今月の表紙

みんなの広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線334)
FAX63-5139

こうたの民話

六条くらんど

むかし、源氏と平家が、くりから峠や一の谷で激しく戦っていたころ、ごとは天皇は天皇の位をつちみかど天皇にゆずられ、出家して上皇となられました。

このごとは上皇の身近に仕えていたくげさんの一人に、藤原のあそん六条くらんどという、とても身分の高い方がみえました。あるとき、とてもささいなことで上皇のごきげんをそこね、都をあとにしなければならなくなりました。そこで、この辺り相見の庄を治めていた小笠原という殿様のもとに、身をよせられました。

京の都は、源氏と平家の争いによって、家は焼け落ち街は荒らされ、見るかげもなくなっていました。それにくらべて、ここ大草の里は、争いもなく平和でのんびりとした暮らしの日々が続いていました。都から来られた六条くらんどさんにとって、さぞ心休まるどころだったことでしょう。

けれど、大草の里は平和だったといえ、なにしろ草深いなかのことです。しばらくすると、くら

んどさんは、あの華やかだった都での暮らしを思い出し、ふっとため息をつかれるようになりました。そんな時、「馬を引け、気晴らしじゃ。」と馬に乗って、よく散歩にでられました。

ある日のことです。いつものように馬に乗って、里のはずれにさしかかれたとき、何かに驚いた馬が、ヒーンとさお立ちになってしまいました。くらんどさんは馬から振り落とされ、打ちどころも悪く、あえなく帰らぬ人となってしまいました。

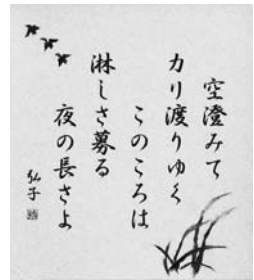
その後、里の人たちが、馬に乗ってここにやってくると、よく落馬するようになりました。「これは六条くらんどさんのたたりじゃないか。」

「たたりをしずめるために、くらんどさんをお祭りしなくては…」そう思った里の人たちは、ここに小さなお社を建て、くらんどさんの魂をなぐさめました。

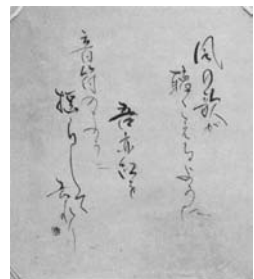
これが、今はなくなりましたが、大草の「穴じょうさん」です。

みんなの作品展!

平成26年度 幸田文化協会秋の文化祭からのセレクトです



たにざわ ひろこ 谷澤 弘子 さん



やまぐち かつこ 山口 勝子 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課広報広聴Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで。)

「たいがいたいがい」

「たいがいたいがい」

1月11日、きょうは風揚げまつり。待ちに待った大風の出番です。みんな力を合わせ、さあ綱を引きます……

「まー、てーはなびてーぞー」
「あかんで、まっと引つ張らにゃー。誰だー、たいがいたいがい、言っは」

「もっ手を放していいぞー」
「だめだよ、もっと引つ張らないと。誰だ、でたらめ言っは」
「この「たいがいたいがい」は、「大概」を繰り返したものです。「大概」とは、一般に「おおむね。おおよそ。おおかた」の意味ですが、「たいがいたいがい」と言っは「い加減。適当。でたらめ」など、なぜか悪い意味になってしまいます。」

そこで、「大概」の確率を70%だとすると、「たいがいたいがい」は、「大概」の2乗ですので、70%×70%＝49%。よって「でたらめ」となるのですが、もとより、計算式で答えが出せるようなことではありません。」

この「たいがいたいがい」が転じて、「たいげーたいげー」ともこの地方では言います。これがさらに転じると「てーげーてーげー」、沖繩の代表的な方言の一つですが、これも本を正せば、「たいがいたいがい」なのです。

(文・つゆ)



青春トークリレー
第262走者

すがわら あすか
菅原 明日華 さん

野場区在住 21歳 社会人
血液型 A型 身長 146cm
好きなタイプ 秘密
好きな芸能人 細美 武士

あけましておめでとうございます。私は4月から社会人になりました。まだまだ未熟で失敗も多いですが、自分の仕事に責任を持って一生懸命頑張っていきたいと思います。休日は友人と買い物をしたり、音楽鑑賞をしています。最近ではベースを弾き始め、新たな趣味に夢中になっています。今年の目標は、ライブにたくさん行くこと、習い事を始めること、そして、両親を旅行に連れて行くことです。

私の住む幸田町は自然豊かで、夜はとても星がきれいに見える素敵な町です。これからも幸田町の良さを大切にしつつ、さらに発展していくことを楽しみにしています。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



「育ちよう科学の目」
父母の会主催で「サイエンスショー」を見る機会を得ましたが、毎回びつくりさせられます。大きな黒いビニール袋にドライヤーの熱風を入れるとたちまち大きなシンバイザメに変身し、空中に浮かぶと「おー！」と、大きな歓声があがりました。また、大きな段ボール箱から、丸い空気砲が飛び出し、向かってくるとつい身体をのけ反ったりして

わんぱくだより

「某月某日」
「幸田保育園」



園内でも不思議体験をしました。園で採れた小さいトウモロコシを乾燥させて、そのトウモロコシをフライパンで炒ると、あら不思議、ポップコーンができましたよ。最近ではゲームに夢中になる子が多いけれど、



いました。

わーすごい！
ポップコーンだ！



ど、身近な物を使って色々な科学実験を体験できる機会があるといいなと思います。こんな時こそお父さんの出番です。お子さんと不思議体験をしてみませんか？

ちよと編集者のひびく

▼新年あけましておめでとうございます。今年も一年よろしくお願ひ致します。

「二年の計は元旦にあり」ということで、新しい年を迎えて心機一転、みなさんはどんな目標を立てましたか？私は先日、人間ドックの結果説明で、お医者さまから「そろそろ本気で考えてください」と最後の通告をいただきました。何かということ、「これ以上体重を増やさないこと……」です。食事に気を付けながら、運動に励みたいと思います(汗)

そんな私ですが、行ってきました愛知万博メモリアル駅伝。今月号の7ページで幸田町代表選手の様子をご紹介しています。ちなみに、会場内では各市町の物産展が開催され、B級グルメもあり、駅伝にあまり興味のない人でも楽しめるイベントになっていました。私も3年後に40代、幸田町代表の座を目指して今日から走り始めます。

そんな私にもってこいのイベントが1月25日に開催される新春駅伝・ファミリースヨキング大会。みなさんエントリーしましたか？駅伝の部では真剣勝負が、ヨギングの部は名前の通り家族で参加して楽しんでいただけるとの大会になっています。大会当日は交通規制でみなさまにご迷惑をおかけしますがご協力をお願い致します。沿道で走る選手たちに温かい声援を送ってくださいね。(K)